



白い森小国から

いよいよレースシーズンが開幕した。今年の競技用マシンは、小野さんが Baja1000 を走ったあの JB23 だ。俺自身、スランプから抜け出したようだし、とにかく今年は暴れまくるつもり！とにかく走りたくて仕方ない状態なのだ！

文／今 修 写真／ K-PRODUCTS

オレ、福岡好きかも !!

5月2日九州福岡空港に到着、人生で2回目の福岡だ！やはり山形より暖かく、まるで南国に来了感覚。今回はXC ジャパンカップ第一戦に参戦するためにはるばる山形からやってきた。レース車両は既にブレイクスルーさんに到着しているはずなので、すぐにブレイクスルーさんへ向かい、車両の最終チェックをしなければ。

今回持ち込んだ JB23 は、ジムニー誕生40周年の時に DB レーシング・小野勝重氏が Baja1000 に使用した車両。それを譲り受け今年からレースに参戦する予定なのだが、勿論通常の JB23 とはすべてが違う。Baja を完走するために造られた、完璧なレースマシンだ。そんな戦闘力のあるマシンに k-pro オリジナルパーツを付けただろうなか？それもまた大変興味がある。今後このマシンから学べるものは多くあるはずだ。

う～ん不完全燃焼だ…

小国はまだ雪が多く残っていることもあり、全てが慣れていない状態でレースがスタートした。マシンは感覚がつかめず、って言うよりも全く乗れていない。Baja 仕様マシンは国内のレースにありがちなタイトコーナーだとちょっとツライのだ。レース後半になると集中力が切れてきたのだろうか、転倒車が増えてきた。イエローフラッグが上がったり、グリーンフラッグが上がったりして、ドライバーはさらに集中力が必要になってくる。

残り15分ぐらいの時にまたもや転倒車が出た。イエローフラッグが上がり、全車追い越し禁止となるが、コース奥側まで行くとグ

リーンフラッグが上がっている。ここで最後の追い込みとばかりにバトルが展開される。一周廻ってきてまだまだ転倒車両が処理されておらずイエローフラッグが上がっている。そしてコース奥側まで走っていくと今度はグリーンフラッグが上がっていない…。『あ～この状態でレース終了なんだなあ～』なんて思って気を抜いて走っていると後ろにトップらしき2台が見えてきた。『どうせイエローが上がっているから追い越し禁止だし、この状態で後ろの車両がゴールを切れば俺はもう一周走れる』とそのまま走っていたら4台ぐらいに抜かれた！え？なんで？

そしてチェッカーフラッグが振られレースは終了！追い越し禁止だと思ったのは俺だけらしく転倒車両付近だけの区間追い越し禁止だったようだ。俺の今シーズン第一戦は、全てにおいて不完全燃焼だった。

結果はXクラス3位だが、このクラスは5台しかエントリーしてないので真ん中！ちょっと残念だったけど、今回のコース【恋の浦】は本当にいいコースだった。そして走っていて本当に楽しかったし、今後の課題もはっきりとわかったレースとなった。

人生で初めての三重県

5月の中旬、AES ダートバトルの6時間耐久レースに参戦するため三重県松阪市にやってきた。三重といえば松阪牛と伊勢神宮だ！予定よりも4時間ぐら早く着いたので、まずは厄払いに伊勢神宮に行き、赤福やらなんやかんやを食べ歩きしよう。

伊勢神宮は参拝のお客さんが長蛇の列をなして1時間近く並ぶこととなったが、何とか厄払いできた。『さて赤福でも食いに

行くか！』と思った矢先、携帯電話に陸送会社から着信で「あと1時間ぐらいで到着します」だって。これは赤福を食っている場合ではない。悲しいがスーパー早歩きで駐車場に戻りホテルまで移動することに。

精鋭揃いで早くも緊張！

翌日早朝、会場に到着すると既に参加者は気合十分で準備をしていた。その面々を見て『うわ～そうそうたるメンバーだな…』と緊張が走る。IMPS の関根さんをはじめ、今年のスモークンホイールでクラス優勝のノーブルさんと準優勝の後藤さん、そしていつも必ず表彰台に立っている DB レーシングさん、メッチャ速いダークホースさん…。でもレースはやってみないとわからないから。そして今回のレースはちょっと訳があって絶対に優勝して「優勝しました！」と伝えたい人があるんだよなあ～。ああ～勝ちてえなあ～。

6時間耐久走るのは2年振り！

今回は DB レーシングの小野勝重氏とコンビを組んでのレースだ。最初は喜んでいただけ、冷静に考えると小野さんの足を引っ張



九州恋の浦のオフロードコースです。ブレイクスルーさんが手掛けたとのこと。とても楽しいコースでした。

りそうでプレッシャーに…。そして小野さんもまさか日本で再びこのマシンに乗るとは思ってもしなかったと思う。

スタート担当は小野さんだ。プロトも排気量の大きい車両もジムニーも混合の一斉スタートにも関わらず、小野さんはスーパーダッシュでプロトのすぐ後ろに付く。そしてその後ろに IMPS 関根さんが張り付いて早くもバトル状態。そのまま全車第三コーナーに突っ込んでいく。砂煙で全く前が見えない状態だ。全車走り抜け砂煙がす～っと引くと1台転倒車両がいる！あれは…関根さんだ!! マジか!? 会場も大きくどよめいた。

ガンガンにかっ飛んでいた小野さんだが、突然ピットインしてきた。え！マシントラブル？エンジン付近からガチャガチャ音がする、エンジン逝ったか？いやミッションのようだ。すかさず小野さんは「ミッションか？ミッションなら大丈夫だ、残っているミッションで走るからいいよ」の言葉を残して何のためらいもなくコースへ戻っていった。この時壊れたのは2速、そしてここから1-3-4-5速で走るようになった。

その後も小野さんは好調な走りを持続し、このまま最後まで走るんじゃないかと思っていた時、合図が来た。さあ、いよいよ俺の出番だ！

ドライバー交代していきなりカッ飛んで行っは危険なので、しばらくはコース状況を把握しながら走る。15分ぐら走って少しづつペースを上げて、前の車両を抜いて行く。そして40分ぐら走った頃だったと思う、突然左足が撃ったのだ！

はじめはつま先立ち状態で撃ったのでフットレストで伸ばしながら我慢して運転していたが今度は足首が曲がった状態でふくらはぎを撃った…。何ともできずにかかとでクラッチを操作しながら運転していたが、思うようにはいかずペースダウン。そして1台抜かれ2台抜かれ…このままだとヤバイ。直ぐにピットに合図を送ってドライバーチェンジを要求。何とも情けないことをしてしまった…。

しばらく足のマッサージをして、何とか歩けるようになってから小野さんの様子を見に行くと、関根さんと激しいバトルを展開中。見ているこっちが興奮するぐらいの激走だ。そうこうしているとポツポツと雨が降ってきた。残り2時間ぐらいかな？

これからは本当に気の抜けない勝負となりそう。雨で路面状況が変わるし、すでに全車の状態調子も変わってきている。レースは最後までわからない。そして小野さんがピットインしてオレに「無理するな！勝負かけずに無難に走れ！」とアドバイス。そのひと言で状況を大体把握できた。

しばらく走ると明らかに周りの車の様子が変な事に気が付いた。そんな中でも関根さんは元気良くカッ飛んでいる。そして残り数分、ゴール付近にチェッカーフラッグを持ったスタッフが出てきた。『あと1周で終わりだな』と思いながら最終コーナーで後方を確認すると、関根さんが俺をロックオン状態！そしてゴールまであと数十メートルとなった時、関根さんが横に出てきた。チェッカーフラッグが上げられたその瞬間、『優勝は関根さんだな…』と負けを覚悟した。

えっ、我々が優勝したの？

6時間耐久レース終了！足は撃るし、慣れないマシンで守りの運転だったし、小野さんの足を引っ張っちゃったなあ…。今日のレースはどうしても勝ちたかったんだけど残念…。表彰台に上がることはないだろうと、レーシングスーツを脱いで閉会式に出た。名前を呼ばれた選手達が表彰台に上がっている、次はジムニークラスの表彰だ。

第3位、DBレーシング・大野選手、榊原選手。この二人が表彰台に上がらなかったことは見た時ない。やっぱり凄い！

第2位、IMPS 関根選手。え！関根さん2位だったんだあ。でもスタート直後の転倒からの快進撃。やっぱりすごい人だ。

そして第1位、Kプロダクツ・今選手、小野選手。えっ、えっ、え～！マジでビックリした!! 絶対に表彰台なんてありえないと思っていたのに、しかも1位なんて！ということは、あのチェッカーフラッグは俺に振られたんだ！あ～それだったら、もっと大げさに喜べばよかったよ(笑)。

しかも俺じゃない思っていたから、もう1周走ったし、耐久レースはほんと最後の最後までわからない。でも今回の大会は優勝できてほんと良かった。俺と小野さんはどうしても「優勝しました！勝ちましたよ!」と伝えたい人がいたら。

「AES ダートバトル 6時間耐久レース優勝しました!」

またひとつ、俺にとって一生忘れる事の出来ないレースとなったのだ。



向かって左から DB レーシングさん、K-PRODUCTS、4×4 インプスさん。俺だけ着替えているのが恥ずかしい。まさか入賞するとは思ってなかったから…。



①伊勢神宮は驚くほどメッチャ混み！ひたすら歩いての参拝、厄払いのはずが恐ろしいことに…。②豪華メンバーでガチンコ勝負。数年前、新潟安田で行われた8時間耐久を思い出した。③これが今年からレース参戦するJB23だ。イメージカラーも今年から白に変更。理由？修理がやりやすいので(笑)！

K-PRODUCTS 2013 年 イベントスケジュール

※新情報は HP で確認して下さい

第 10 回ジムニーミーティング

8月25日(日)
会場：AREA-D

MCJ カップ (Most Clever Jimnist)

9月22日(日)
会場：特設会場および AREA-D

秋の林道ツーリング

10月6日(日)
会場：未定